

動物用医薬品

承認指令書番号

元動薬第1423号

貯法 遮光・冷所保存, 密封容器

注射用血清性腺刺激ホルモン

要指示医薬品 指定医薬品

動物用セロトロピン[®]
SEROTROPIN[®]

【本質の説明又は製造方法】

本剤は血清性腺刺激ホルモンの注射用凍結乾燥製剤であり、
用時、添付の溶解液により溶解して用います。

血清性腺刺激ホルモンはウマ血清由来の糖蛋白質であり、
雌性動物に対しては主に卵胞刺激ホルモン（FSH）様作用を持ち、
黄体形成ホルモン（LH）様作用は弱く、雄性動物に対しては精
細管上皮細胞を刺激し、精子の形成を促します。

【成分及び分量】

品名	動物用セロトロピン
有効成分	血清性腺刺激ホルモン
分量	1アンプル中1000単位
添付溶解液	1アンプルに対し0.6%塩化ナトリウム溶液 5mL 1アンプル

【効能又は効果】

馬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）
牛（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、
多排卵誘起

めん羊（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、
多排卵誘起

豚（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、
分娩後の発情誘起、多排卵誘起

犬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、
無発情期における発情誘起

馬（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

牛（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

豚（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

犬（雄）：精巣下降不全

【用法及び用量】

添付の溶解液に溶解し、1日1回1頭当たり血清性腺刺激ホル
モンとして下記の量を筋肉内又は皮下に注射し、必要に応じて
反復投与する。

馬：500～2,000単位

牛：500～2,000単位（多排卵誘起の場合2,000～4,000単位）

めん羊：500～1,000単位（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）

豚：400～1,000単位（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）

犬：50～200単位

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- 本剤は、溶解液に混和後直ちに振盪溶解し、速やかに使用すること。

- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

（対象動物に関する注意）

- 本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。
- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（専門的事項）

①重要な基本的注意

- 本剤の投与により、過排卵を起こし、多胎妊娠することがある。
- 本剤の反復投与により、抗ホルモン抗体が産生され効果を減ずることがある。

②副作用

- 本剤の投与により、過敏性反応を起こすことがある。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

- FSH作用を示し、LH（あるいはICSH）作用を併有する。
- 雌性動物に対し、卵胞の成熟を促し、排卵を誘発する（ラット・マウス）。
- 雄性動物に対し、睪丸の発育、特に精細管上皮細胞の増殖を促す（ラット・マウス）。

【包装】

動物用セロトロピン：1000単位×10（アンプル）

[0.6%塩化ナトリウム溶液5mL×10（アンプル）添付]

【製品情報お問い合わせ先】

あすかアニマルヘルス株式会社
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL：03-5439-4188

【電子添付文書情報】

以下より、添付文書情報が確認できます。



あすかアニマルヘルス HP

農林水産省

動物医薬品検査所データベース



製造販売元

あすかアニマルヘルス株式会社

東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03-5439-4188 FAX.03-5439-4191

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。